

ときわびとに寄せて ～四国支部から～

四国支部長 船本 康申

昭和45年、衛生技術科卒の2期生、船本康申です。昨年初夏に神戸常盤大学で開催された同窓会にて四国支部のまとめ役を仰せつかりました。常盤も歴史を重ね、学部・学科の増設、さらには4年制大学へと発展し、四国支部でも2011年までに総勢192名の同窓生を輩出しております。同窓会のさらなる充実が望まれる処です。

さて、支部同窓会の活動実績は特にないように思われますが、“支部便り”として小生と同級の越智繁樹氏が2011年11月厚生労働大臣賞を受賞された報告をさせていただきます。

越智氏が勤務する済生会今治病院は愛媛県東予地区の地域拠点病院として、さらには“がん拠点病院”として地域医療の中心的な役割を担っております。越智氏は長年臨床検査部の技師長として、さらには愛媛県臨床検査技師会の副会長として地域医療への多大な貢献が評価されての受賞でした。本年2月18日、180名の出席者のもと盛大な祝賀会が催されました。様々なスピーチを拝聴する中で越智氏が“臨床検査への思いをポリシーをもって、体現、貫徹したこと”を感じ、常盤の丘で青春時代を共にしたものとして大変嬉しく誇らしく思いました。共に60歳を超え、再雇用としての身分ですがもう少し社会貢献しようと語り合いました。

最後に私事になりますが、専門としている細胞診の仕事で60歳まで勤務した香川大学から医学博士の学位を授与され、年に数回ではありますが神戸常盤大学に新設された細胞検査士養成コースで後輩の指導にもあたっております。

四国支部の皆様、連絡事項・お知らせなど下記へご連絡下さい

香川県坂出市、回生病院 0877-46-1011. [yasunobu@jupiter.ocn.ne.jp\(home\)](mailto:yasunobu@jupiter.ocn.ne.jp(home))



左：筆者、右：越智繁樹



越智繁樹氏・厚生労働大臣表彰祝賀会にて